

「電気・電子計測工学（改訂版）（電気・電子系教科書シリーズ5）」初版2刷正誤表

頁	箇所	誤	正
ix, 68	3.4.2項のタイトル	実効電力の計測	平均（有効）電力の計測
5	コーヒーブレイク内 下から8行目	10-19	10^{-19}
	コーヒーブレイク内 下から9行目	10-34	10^{-34}
56	下から7行目	$\gamma/2I$	$\gamma/(2I)$
	式(3.6)	$\frac{T}{I}$	0
	下から1行目	$\theta_t = \theta e^{pt}$	$\theta_t = e^{pt}$
57	式(3.7)	$p^2t + 2\delta pt + \omega_0$	$p^2 + 2\delta p + \omega_0^2$
	式(3.8)	$a_1 e^{p_1 t}$	$a_2 e^{p_2 t}$ (a_1, a_2 は定数)
	上から4行目	$\theta_t(t)$	θ
67	表3.4内「動作量」	平均電力・実効電力	平均電力
		正弦波交流回路における実効電力	正弦波交流回路における有効電力
	表3.4内「定義」	電圧と電流の実効値を $V \equiv v_0/\sqrt{2}, I \equiv i_0/\sqrt{2}$ とした実効値	電圧と電流の実効値を $V \equiv V_0/\sqrt{2}, I \equiv I_0/\sqrt{2}$ とした平均電力
		実効電力と無効電力をベクトル的に足した見かけ上の電力	有効電力と無効電力をベクトル的に足した見かけ上の電力
		皮相電力のうちの実効電力の割合	皮相電力のうち有効電力の割合
		観測時間内(0~T)に供給された総エネルギー	観測時間内(T_0)に供給された総エネルギー
表3.4内「算出法」	$p(t) = v(t)i(t)$ $= v_0 \cos(\omega t)i_0 \cos(\omega t + \theta)$	$p(t) = v(t)i(t)$	
	$\frac{v_0 i_0}{2} \cos \theta$	$\frac{V_0 I_0}{2} \cos \theta$	
	$W = \int_{t_0}^T p(t) dt$	$W = P T_0$	
68	式(3.18)	$v_0 \cos(\omega t)$	$V_0 \sin(\omega t)$
	式(3.19)	$i_0 \cos(\omega t + \theta)$	$I_0 \sin(\omega t + \theta)$
	上から5行目	実効電力	有効電力
	下から2行目	～与えられ、二つの電流の積の実効値が測定できる。	～与えられる。したがって、 i_2 を電源電圧 v に比例するように設定すれば、平均電力が測定できる。
	図3.13	電圧と電流の(瞬時値の)積の平均で電力が計れる	削除
		I, V	削除
電源		電源 V	
123	図7.3	F_1, F_2, F_N	NF_1, NF_2, NF_N
129	下から7~8行目	それを有能電力(available power)といい、	それを有能電力(available power)あるいは最大供給電力(maximum supply power)といい、
196	1章【3】上から2行目	$\left(\frac{1}{a} - \frac{x}{a^2}\right)$	$\left(\frac{1}{a} - \frac{ x }{a^2}\right)$

②

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。
 下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。
<https://www.coronasha.co.jp>